

9) シビックコア地区連携機能

- 1. 地区面積 8.1ha
- 2. 整備目標 文化・情報・歴史・交流のまちづくり
- 3. 国の同意 平成16年3月

4. 機能連携施設

甲府地方合同庁舎・・・新規機能（核施設）

国の行政機関のうち8官署を集積することにより、利用者の利便性の向上を図るとともに、他の施設との機能連携によって拠点性を高める。

平成20年度調査、21年度着工予定、地下2階地上9階（庁舎分・その他合同宿舍102戸予定）

NHK甲府放送局（新会館）・・・新規機能

地域の人達に親しまれる、地域文化の創造と情報発信の拠点となる放送局を目指す。

平成20年度設計、22年度着工、23年度完成予定、地上3階程度

北口県有地・・・新規機能

（検討中）

山梨文化会館・・・既設機能

情報文化の発信基地として機能。

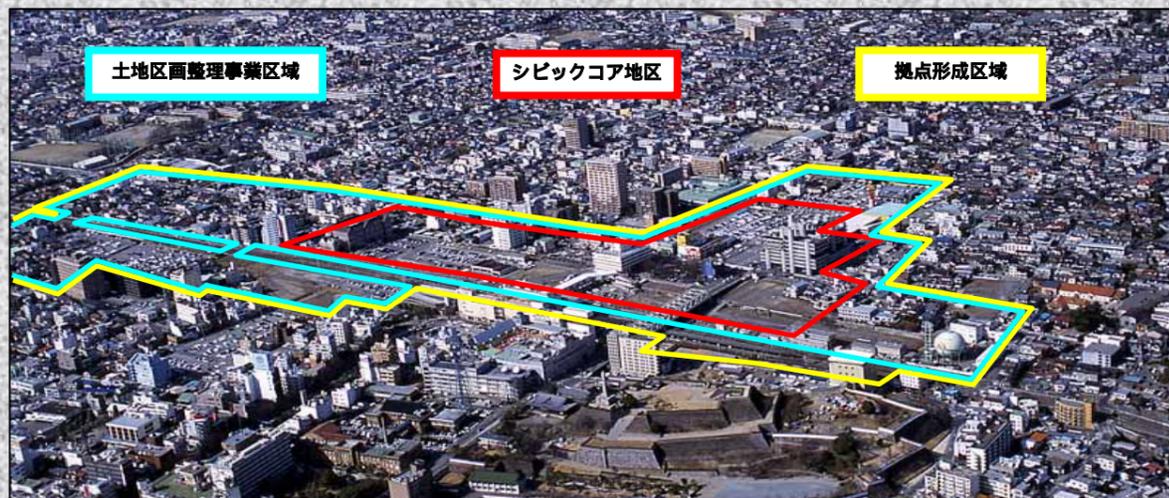
（丹下健三の代表作の一つで、本人も自らの「記念碑的な作品」として挙げている建物である。）

ベルクラシック甲府・・・既設機能

バンケット・コンベンション施設として機能。

駅前広場・よっちゃんばれお祭り広場（前頁参照）

甲府市歴史公園（前頁参照）



甲府市 都市建設部 都市拠点整備室
 山梨県甲府市丸の内一丁目18-1
 TEL 055-230-1029
 FAX 055-230-1039

新都市拠点整備事業の概要

・甲府駅北口整備のイメージ



注 甲府地方合同庁舎及びNHK甲府放送局（新会館）については、甲府市が仮に想定した建物です。
 （平成20年1月現在）

甲 府 市

甲府駅周辺を地方中核都市にふさわしい、利便性・安全性の高い交通拠点に改善するとともに、市民をはじめ観光で訪れる全ての人々の交流拠点として賑わいのあるまちづくりや公共施設の整備、改善及び宅地の利用増進など、健全な市街地形成を図り「魅力と活力のある誰もが住みたい楽しいまち」をつくります。

- 1. 事業名 新都市拠点整備事業
- 2. 施行面積 土地区画整理(21.9ha) 拠点形成(25.5ha)
- 3. 施行期間 土地区画整理(平成3年度～平成25年度) 拠点形成(平成15年度～平成21年度)
- 4. 事業費 約393億円(土地区画整理事業費369億円・拠点形成事業費24億円)

5. 事業内容

- 1) 北口駅前広場 3,658㎡ (平成20年度～平成21年度)
駅前のターミナル機能を強化するとともに、よっちゃんばれお祭り広場と一体的に整備することにより、交流空間としての高質化を図る。
- 2) よっちゃんばれお祭り広場 4,827㎡ (平成19年度～平成21年度)
市民や観光客の憩いの場であるとともに、多様な交流を目的とするイベントの開催も可能な都市空間を創出する。



- 3) 甲府市歴史公園 6,039㎡ (平成19年3月完成)
甲府城の山手門や山手渡櫓門を復元し、歴史的景観を後世に伝えるとともに、お祭り広場や舞鶴城公園との回遊性を高める。



甲府市歴史公園

- 4) 中央消防署 1,633㎡ (平成19年2月完成)
延床面積 1,192㎡
中心部の防災機能を強化し、安全で安心な生活環境を確保する。



中央消防署

- 5) 自転車駐車場 784㎡ (平成19年8月完成)
延床面積 1,236㎡
1・2階二段式ラック式 1,020台収容 鉄骨造2階建
駅機能の利便性の向上を図る。



自転車駐車場

- 6) 甲府市藤村記念館 木造2階建 (平成19年度～平成21年度)
建築面積:189㎡
延床面積:385㎡
快適な都市景観の形成と歴史資源を活かした「歴史を感じさせるまち」の実現に向けて、国指定重要文化財である旧陸沢学校を武田神社境内より甲府駅北口に移築する。



甲府市藤村記念館

- 7) 甲州夢小路事業 3,224㎡ (平成22年春完成予定)
交流拠点としての駅前広場や多目的広場及び甲府市歴史公園と連携を図り快適性や借来性を附加するために、民間事業者による歴史観光型集客施設を創設する。



甲州夢小路

8) 甲府駅周辺土地区画整理事業

人々が住み・集いそして、交流する複合的な住みやすいまちに再生するため甲府駅周辺の大規模空閑地(鉄道跡地等)を活用した土地基盤整備を図り、ゆとりと潤いのあるまちづくりを目指す。

- ・平均減歩率 18.63%
- ・用途地域 商業地域 20.7ha
第二種住居地域 1.2ha
- ・土地利用

	【施行前】	【施行後】
・宅地	19.3ha (88.1%)	14.5ha (66.2%)
・公共用地	2.6ha (11.9%)	7.4ha (33.8%)